



YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY
横浜市民ギャラリー



アート ヨコハマ

ART YOKOHAMA

vol. 49

横浜市民ギャラリー情報誌

2012. 10 | 11 | 12 | 2013. 01

ニューアート展NEXT 2012いよいよオープン!
ハマキッズ・アートクラブ 2012後半プログラム募集

<http://www.yaf.or.jp/ycag/>

ニューアート展NEXT2012 動く絵、描かれる時間 Phantasmagoria

本展は、横浜を拠点に活動する新進気鋭の映像作家、金澤麻由子とSHIMURAbrosの2組を取り上げます。初公開となる大型新作インスタレーションを中心に、“動く絵、描かれる時間”にふさわしい立体、水彩、素描などの出品を予定。映像表現の幻想的な魅力を体験していただくと同時に、動画にまつわる作品もあわせて展示することで、映像表現への親しみを感じていただく展覧会となることでしょう。会期中は、アーティストトークのほか、写真家・港千尋氏による記念レクチャー、ギャラリートークなどの関連イベントを企画しています。

展覧会期 2012年9月28日(金)～10月17日(水) 会期中無休

出品作家 金澤麻由子、SHIMURAbros

時間 10:00～18:00(入場は17:45まで)

会場 横浜市民ギャラリー 1、2階展示室 入場無料

関連イベント 10月2日(火) 14:00～15:30 記念レクチャー(講師：港千尋)
10月6日(土) 14:00～15:30 アーティストトーク(出品作家)
10月7日(日)、14日(日) 14:00～14:30 担当学芸員によるギャラリートーク

主催：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市民芸術文化振興財団)
後援：横浜市文化観光局、神奈川新聞社、tvk、RFラジオ日本、FMヨコハマ、横浜市ケーブルテレビ協議会
助成：公益財団法人花王 芸術・科学財団
協賛：アサヒビール株式会社、アサヒ飲料株式会社、株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ、株式会社リコー、住友電気工業株式会社、ニューオータニイン横浜、横浜サンミラー株式会社、横浜美術大学
協力：神奈川県民ホール(公益財団法人神奈川芸術文化財団)



金澤麻由子《巣-Nest-》(部分)
2012年 映像インスタレーション



SHIMURAbros《FILM WITHOUT FILM》
2010年 マルエージング銅

ところで ファンタスマゴリアって？

現代のスライド・プロジェクターに若干の仕掛けを施し、一種の映画的効果をつくりあげる光学装置や、それによって得られた映像の名でもあります。ファンタズム(空想的産物)とアレゴリー(寓意)の語尾からつくられたものとみなすこともあり、その内容は、はかないもの、巧妙なトリック、まやかしという意味を含んでいると同時に、人を魅了する力、現実から詩への変容といった意味を備えているとすることもあります。映画の父、フランスのリュミエール兄弟がシネマトグラフを一般公開した1895年に先立つことおよそ100年、19世紀初頭のヨーロッパで一大センセーションを巻き起こしました。本展でもあっと驚くような作品に出会えるかもしれません！

好きって、才能。

学校法人トキワ松学園

横浜美術大学

YOKOHAMA COLLEGE OF ART & DESIGN

〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町 1204
TEL：045-962-2221(代) FAX：045-961-7371

E-mail：hamabi@yokohama-art.ac.jp
URL：www.yokohama-art.ac.jp

平成24年度事業(10～3月)のご案内

「ハマキッズ・アートクラブ2012」後半の講座参加者募集&絵画教室卒展のご案内です。



子どものための造形を中心としたプログラム。
アトリエスタッフやアーティストによる講座を通じて、子どもたちの成長を応援します。
※申込方法はHPや年間リーフレットでご確認ください。

ハウス型ランタンでクリスマス

日時 11月25日(日) 13:30～16:30
講師 豆腐谷 正樹(会社員、造形愛好家)
対象 小学生
定員 30名
参加費 1,500円
応募しめきり 11月8日(木)



みんなとつながって宇宙に行こう！

日時 12月16日(日) 13:30～16:00
講師 ロコ・サトシ(ウォールペイントアーティスト)
対象 4～12歳
定員 30名
参加費 1,500円
協力 あーすぶらざ
応募しめきり 11月29日(木)



紙で民族衣装をつくって着よう

日時 2013年1月19日(土)
13:30～16:00
講師 アトリエスタッフ
対象 4～8歳とその保護者
定員 子ども30名
参加費 1,500円

応募しめきり
2013年1月7日(月)



平成24年度絵画教室「卒業生作品展」

市民ギャラリーの絵画教室は、初めて絵筆を持つ人も気軽に参加でき、経験豊富な先生が一人ひとり丁寧に指導し、参加者同士が互いに親睦を深めながら、絵を描く楽しさを体験できる教室です。その教室で、4月の開講から約1年間学んできた成果を発表する「卒業生作品展」が開催されます。同じモチーフでも個々によっての表現の違い等が見て取れる、移転を前にした市民ギャラリーのフィナーレを飾る展覧会になりますので、是非足を運んでみてください。

会期 平成25年
3月6日(水)～3月11日(月)
会場 3階A室・B室 入場無料
時間 10:00～18:00
※入場は17:45まで
初日は飾付次第開館

各事業ごとに、チラシおよび市民ギャラリーのHPで詳しい情報をご確認ください。
<http://www.yaf.or.jp/ycag/> 横浜市民ギャラリー TEL.045-224-7920

収蔵作品 紹介

横浜市民ギャラリーのコレクションから、
毎号1点ご紹介いたします

いわたえいのすけ

岩田栄之助は1899年に横浜市神奈川区に生まれました。県立工業学校図案科卒業後、1919年に東京美術学校(現・東京藝術大学)西洋画科に入学するも二年後に退学、以後木村荘八(1893-1958)や横堀角次郎(1897-1978)に師事しながら制作を続けました。1927年、第5回春陽会展に入選、1946年に会員に推挙され、同会に出品を続けました。1931年には松島一郎(1902-1965)や中島清之(1899-1991)らと横浜美術協会を設立しています。1982年に横浜文化賞を受賞、1985年に亡くなりました。この作品は、終戦後まもない1947年に描かれました(1946年という説もあり)。現在の山下公園から港が見える丘公園に向かう途中にある、フランス山公園上部から横浜港を眺める構図です。トリコロールの旗が掲げられた建物はフランス領事館で、1947年に焼失していますので、この作品はその直前の姿を描きとった貴重な作例といえるでしょう。まだ連合国軍の接収中であつた横浜港には、大小さまざまな船がたくさん行き交っています。



岩田栄之助《終戦後の横浜港》
1947年
油彩、キャンバス
64.0×79.0cm

展覧会イベント報告

横浜市 こどもの美術展 2012

1965 年からはじまった「横浜市こどもの美術展」も、現施設では最後の開催となりました。今年も 0 歳から 12 歳まで 3,227 点の応募があり、展示室が元氣な作品でいっぱいになりました。自由参加ワークショップは、手づくりの革ランドセルで人気の土屋鞆製造所による「革リボンのお絵かきバッジを作ろう!」、テレビでもおなじみのクレイアニメーション制作会社 I.TOON による「I.TOON アニメーションワークショップ」の 2 企画で、いずれも好評でした。また、スペシャルトークは、アニメーションを教育に活かす研究をしている布山タルト先生(東京藝術大学准教授)が講師をつとめ、興味深いお話をいただきました。



左.ワークショップ風景
中.会場風景
右.スペシャル・トーク風景

事業報告

主催：横浜市民ギャラリー
(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
後援：横浜市文化観光局、横浜市教育委員会、神奈川新聞社、tvk、RF ラジオ日本、FM ヨコハマ、横浜市ケーブルテレビ協議会
協賛：株式会社土屋鞆製造所、財団法人はまぎん産業文化振興財団
助成：横浜市安全教育振興会
協力：東京藝術大学大学院映像研究科、I.TOON Ltd.
会期：7 月 28 日(土)～8 月 2 日(木)
会場：横浜市民ギャラリー 1・2・3 階展示室
出品点数：3,227 点 入場者数：8,274 名(入場無料)
広報印刷物：チラシ(A3 二つ折) 15,000 部

一般ボランティア：のべ 42 名
高校生ボランティア：のべ 52 名
中学生ボランティア：のべ 30 名

関連イベント

・自由参加ワークショップ
会期中毎日 10:00～17:30 参加無料
「革リボンのお絵かきバッジをつくろう」1,331 名
「I.TOON アニメーションワークショップ」942 名
・布山タルト先生のスペシャルトーク
7 月 29 日(日)14:00～14:45 聴講無料
参加人数 25 名

子ども向け造形プログラム 『ハマキッズ・アートクラブ』

子どもたちの創造力を育み、集中力や協調性を養う、子どもが主役の造形教室です。

チャレンジ/コミュニケーションプログラム

日時：6 月 3 日(日) 13:30～16:00
対象：4～8 歳とその保護者 参加者数：18 名
参加費：1,500 円 講師：アトリエスタッフ
材料提供：横浜市環境活動支援センター



森の素材でモビールづくり

森の世界をモビールで表現

モビールは、「動く彫刻」とも言われる室内装飾です。今回は、乾かしたぶどうのツルをベースに、様々な森の素材を使ったモビール作りを取材しました。松ぼっくりや枯れ葉に目のシールを貼り、毛玉の耳に唐辛子の口、どんぐりの手足をくっつけると、「森の住人」の誕生! 綿や色とりどりのモールで飾りつけ、素朴ながら華やかで、個性豊かな森の世界が出来上がりました。親子で一緒に作った思い出のオブジェになると良いですね。

／ レポーター 米長 洋和

コミュニケーションプログラム

星で遊ぼう! 万華鏡とうちわをつくろう

日時：7 月 15 日(日) 13:30～16:00
対象：4～12 歳 参加者数：27 名
参加費：1,000 円
講師：横浜美術大学 星と彫刻のプロジェクト



撮影：高山健二(ボランティア)

お兄さん、お姉さんとアートで遊ぼう!!

夏の暑さも跳ね返す勢いの子ども達 30 人、待ちきれなくてスタート前から絵をどんどん描いています。知らない同士もすぐにお友達になって、お話したり、笑い合ったり楽しい雰囲気です。今回は横浜美術大学の部活動「星と彫刻のプロジェクト」のやさしいお兄さんお姉さん達 7 名が指導してくださいました。子ども達も緊張せずにたくさんの質問ができ、学生達も対応に大わらわ。切紙を貼ったうちわも作り、みんな大満足。万華鏡のように、大学生達、子ども達の瞳もキラキラと輝いた一日でした。

／ レポーター Y・K

展覧会イベント報告

第 36 回ヨコハマ日曜画家展

関内の地で行われる最後の日曜画家展ということもあり、油彩、水彩などあわせて 230 点の出品がありました。来館者は 7,500 人を超え、会場は連日賑わいをみせていました。次回は別の会場で開催を予定していますので、楽しみにお待ちください。

事業報告

主催：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
NPO 法人横浜美術友の会
後援：横浜市文化観光局、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、東京新聞横浜支局、神奈川新聞社、テレビ神奈川、ホルベイン工業(株)、(株)クサカベ、松田油絵具(株)、ハヤカワ画材店、みついい画廊、絵具屋三吉
会期：平成 24 年 6 月 19 日(火)～6 月 24 日(日)
会場：横浜市民ギャラリー 1・2・3 階 A 展示室 入場者数：7,579 名(入場無料)
出品作品：230 点
授与賞数：ヨコハマ日曜画家展賞、神奈川県知事賞など 32 賞

関連イベント

①講評会 6 月 24 日(日) 13:00～14:45 会場内作品前
講師：荒井美智代、関口雅文、横橋 守 (敬称略、50 音順)
②表彰式 6 月 24 日(日) 15:00～15:45 横浜市民ギャラリー地下 1 階アトリエ



ヨコハマ日曜画家展賞
吉田 正則「巍巍(ぎぎ)」

横浜市内 アート・カルチャー情報

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が運営する文化施設の情報をえりすぐってお届けします。



横浜美術館

はじまりは国芳—江戸スピリットのゆくえ 2012 年 11 月 3 日(土・祝)～2013 年 1 月 14 日(月・祝)

歌川国芳は、江戸末期に近代的な感覚を先取る作風で異彩をはなった絵師のひとりです。本展では国芳の画系につらなる江戸末から明治・大正期の作品を紹介し、国芳に端を発する豊かな絵画表現の展開をたどります。

開館時間 10:00～18:00(入場は 17:30 まで) 休館日 木曜日、12 月 29 日～1 月 3 日

入場料 一般：1,200 円/大・高校生：800 円/中学生：400 円/小学生以下無料

お問合せ 〒220-0012 横浜市区西みなとみらい 3-4-1 TEL. 045-221-0300
ホームページ <http://www.yaf.or.jp/yma/>

横浜市民ギャラリーあざみ野

あざみ野コンテンポラリー vol.3 ART×DANCE 2012 2012 年 10 月 20 日(土)～11 月 11 日(日)

「あざみ野コンテンポラリー」は、美術という枠や社会的評価にとらわれず、さまざまなジャンルのアーティストが行っている表現活動に目を向けた、まさに現在進行形のアートを紹介するシリーズ展。今年は「アート・ミーツ・ダンス」をテーマに開催します。

開館時間 10:00～18:00 休館日 10 月 22 日(月)

入場料 一般：300 円/高校生以下無料 会場 横浜市民ギャラリーあざみ野展示室

お問合せ 〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3 アートフォーラムあざみ野内
TEL. 045-910-5656 ホームページ <http://artazamino.jp/>



歌川国芳(一勇斎)≪近江の国の勇婦於兼≫
天保 2-3 年頃(c.1831-32)、横大判、多色木版
※前期のみの展示



亀井佑子(in the grid_#2)
2008 年 65x90cm セラチン・シルバー・プリント
©Yuko Kamei

休館移転の
お知らせ

横浜市民ギャラリーは 平成 24 年度末をもって休館・移転します

開設以来 50 年近い歴史を持つ横浜市民ギャラリーは、市の中心部である関内駅前という立地の良さや、規模の大きい展示室を備える数少ない公立ギャラリーとして、美術団体、美術作家の自由な活動の場として積極的に活用され、多くの美術団体が育ち、作家が生まれ、活動の場を広げてきました。しかし、現在の建物の耐震強度が低いことや経年劣化が進んでいることから、平成 24 年度をもって閉館し、旧横浜市民厚生施設(いせやま会館)を改修したうえで、新たな横浜市民ギャラリーとして整備することになりました。皆様にはしばらくの間ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後のスケジュール

- ・現在の横浜市民ギャラリーは、平成 25 年 3 月 11 日(月)まで営業
- ・平成 25 年 3 月 12 日(火)以降は、移転準備のため閉館
- ・平成 26 年度時期未定
新ギャラリー開館(予定)

横浜市民ギャラリーの歴史を振り返る

第2回 企画展の歩み

市民ギャラリーの歴史をご紹介しますシリーズの第2弾。今回は、現代美術を紹介し、長年親しまれてきた「今日の作家展」や、その後継の「ニューアート展」に代表される、企画展の歩みをたどります。

ハマキッズ・コロロ
がご案内します。

ハマキッズ・コロロ

今日の作家展

市民ギャラリーが開館した1964年から2005年度まで続いた現代美術の展覧会です。1999年までは、外部の批評家やキュレーターを招聘して企画する形がとられ、毎回時代を反映する作品が紹介されてきました(2000年からは市民ギャラリーが企画しています)。現在よりも美術館やギャラリーの数が少なかった時代から、現代美術に特化した企画展が毎年1回開催されたことは先進的なことでした。この背景には、当時の飛鳥田一雄市長の「現代美術館構想」があったといわれており、進取の気風に富む横浜ならではの取り組みでした。

また、1949年から無審査方式で開催され、若手芸術家が様々な表現を試みたことで“反芸術”ブームを生んだ「読売アンデパンダン展」が中止となった1964年に、テーマに沿って多様な作家を紹介する形式で「今日の作家展」が始まったことは、戦後美術史の流れにおいて象徴的といえるでしょう。

「今日の作家展」では、荒川修作や福田繁雄、草間彌生などその後世界でも活躍する作家が数多く紹介されました。



第11回今日の作家展
今日の「静物」展(1975年) 会場風景

近年のコレクション展では、鑑賞サポーターや解説パネルの執筆など、ボランティアさんが活躍しています!



コレクション展2010
学芸員とボランティアが
共同でつくった出品目録

さまざまな企画展

現在ではより多くの方に展示室をご利用いただくことを優先し、市民ギャラリーの企画展は年3回に限っていますが(「横浜子ども美術展」「ニューアート展NEXT」「横浜市民ギャラリーコレクション展」)、以前はさまざまな企画展を実施していました。地元を中心とした作家の個展や、横浜の姉妹都市との交流展など多彩な内容で、横浜の美術の発信地として賑わいました。

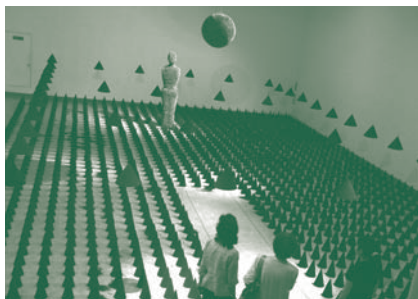
これらの企画展や、今日の作家展などを契機に収蔵された作品を紹介する収蔵作品展(コレクション展)も、1985年からおこなわれています(1986~2003年は市内施設でも巡回)。

今年の「ニューアート展NEXT」は「今日の作家展」以降はじめての、映像に特化した展覧会です。どうぞ期待!

ニューアート展・ ニューアート展NEXT

横浜市民ギャラリーに指定管理者制度が導入された2006年から、「今日の作家展」をリニューアルした「ニューアート展」が始まりました。現代作家の作品を紹介するグループ展という形式は踏襲しながらも、“同時代の表現をわかりやすく紹介する”というコンセプトのもと、2010年まで開催しました。

2011年からの「ニューアート展NEXT」は横浜市がこれまで都市政策の一環として育成してきた作家を紹介することを明確にし、更に進化させた企画展です。現代美術を身近なものとして感じていただくべく取り組んでいますので、ぜひ今年もご来場ください!



「ニューアート展2008」会場風景

GALLERY SCHEDULE 2012年10月~2013年1月

横浜市民ギャラリー展覧会情報

開館時間: 10:00~18:00(会期初日は午後からの場合があります)
休館日: 施設点検日 10月20日(土)、10月21日(日) ※事務室もお休みです。
年末年始 12月28日(金) ※事務室は開いています。
12月29日(土)~1月3日(木) ※事務室もお休みです。
終日展示・作業日 10月22日(月)、11月19日(月)、1月16日(水)、1月23日(水) ※事務室は開いています。



※8月11日時点での情報に基づいています。

9月28日(金)~10月17日(水)

1F 2F ニューアート展NEXT2012 映像

9月30日(日)~10月5日(金)

3F AI 第25回遊子展 油彩・水彩・日本画・版画・彫刻
3F AII 第2回日本画院神奈川支部展 日本画
3F B 第7回風景スケッチ展 水彩
3F C 2012第23回神奈川美術協会会員展
油彩・水彩・日本画・墨絵

10月6日(土)~12日(金)

3F AI 瓢蟲社同人写真展 写真
3F B 全日本写真連盟・朝日新聞社主催2012(第57回)全神奈川写真サロン公募展 写真
3F C 第15回三ツ境カルチャーフォトクラブ写真展 写真

10月7日(日)~12日(金)

3F AII 国際カルチャーセンター光画会写真展 写真

10月14日(日)~19日(金)

3F 創立50周年記念第50回全国公募日書家展 書

10月23日(火)~29日(月)

1F 2F 3F 第52回神奈川県女流美術家協会展
油彩、版画、日本画、水彩、テンペラ、彫刻、立体等

10月30日(火)~11月5日(月)

1F 布夢彩画 時代さけのもざいくあーと
各教室合同展 布絵
2F ヨコハマナウ展 油彩・立体・その他平面
3F AB 第59回春陽会神奈川研究会展 油彩・水彩
油彩・水彩
3F C 新書芸サロン書作展 後援産経新聞社 書

11月6日(火)~11日(日)

1F 2F 第9回アートシャワー横浜展
油彩、水彩、版画、写真、立体、現代美術
3F AI 墨朋会水墨画総合展 水墨画
3F AII グループ爽 油彩・水彩
3F B 第22回豊彩会展(絵画) 油彩
3F C 第2回NK展 油彩

11月12日(月)~18日(日)

1F SPACE展'12 立体、デジタルアート
2F 礎子写真会第8回定期展 写真
3F AI 第7回ブランカの会 油彩・水彩
3F AII 水彩第25回ボプラの会展 水彩
3F B 第20回水彩画梢展 水彩
3F C 第13回シグナルの会展 油彩、水彩

11月20日(火)~12月2日(日)

1F 2F 3F 第68回ハマ展 油彩・水彩・日本画・版画・写真・
彫刻・立体・その他平面

12月3日(月)~8日(土)

1F 第22回蒼龍展 書・いのちの躍動 書
2F 平成24年度横浜鶴写会(全日写真連旭支部)写真展
写真
3F 第37回横浜四大学連合写真展 写真

12月9日(日)~14日(金)

1F 第18回アテナの会展 油彩
2F 第1回自然風景写真展(四季の彩り) 写真

12月10日(月)~14日(金)

3F 神奈川県高等学校総合文化祭
第49回高等学校書道展 書

12月15日(土)~20日(木)

1F 第42回湘風展 油彩
2F 溪石会日本画展(山水画・花鳥風月画・デッサン画)
日本画
3F 第45回公募竹青社書展 書

12月21日(金)~27日(木)

1F 第9回空の会展 油彩
2F 第5回彩月会水彩画展 水彩
3F AIB 第47回静和書道会 書
3F AII 健康と安全ポスター展 ポスター展

12月22日(土)~27日(木)

3F C 第39回高校生写真展 写真

1月4日(金)~9日(水)

1F 2F 公募第40回新芸書道展 書
3F A M展2013(武蔵野美術大学出身作家による)
油彩、水彩、日本画、版画、写真、その他平面、彫刻、立体、
陶芸、パフォーマンス、ステンドグラス
3F B 第24回同人展 油彩・水彩・版画
3F C 第56回夢育会書道展 書

1月10日(木)~15日(火)

1F 第34回横浜陶芸友の会作品展 陶芸
2F 第17回2020年協会展 油彩
3F AI 第8回描の会展 油彩・水彩
3F AII B 公募第50回虹友書道展 書
3F C 第35回(社)創元会神奈川支部展 油彩・水彩

1月16日(水)~22日(火)

2F 教職員美術展&虹彩会展
油彩・水彩・版画・彫刻・立体・陶芸
3F 横浜市小学校児童書写展 書

1月17日(木)~22日(火)

1F 横浜市立学校総合文化祭 小・中学校書写展 書

1月23日(水)~28日(月)

1F 2F 平成24年度横浜市立学校総合文化祭
4校種図画工作・美術・書道作品展 油彩・水彩・
版画・書・その他平面・彫刻・立体・陶芸・工芸
3F つたえたいぼくのきもちわたしのおもい作品展
油彩・水彩・日本画・水墨画・版画・写真・書・
その他平面・彫刻・立体・陶芸・工芸

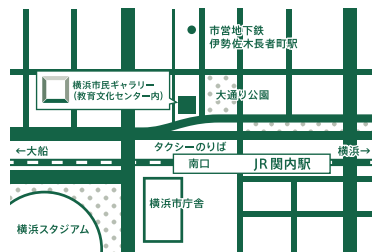
1月29日(火)~2月3日(日)

1F BEAT NOW展
油彩・水彩・日本画・水墨画・版画・写真・立体
写真展たんぼ写真会 写真
2F 第15回華の墨絵会展 水墨画
3F AII 豊栄会文化祭 油彩・水彩・写真・書・陶芸
3F B 第22回梨の会展 油彩・水彩・版画
3F C 第36回鐵門社学生書道展 書

横浜市民ギャラリー (公益財団法人横浜市民芸術文化振興財団)

開館時間: 10:00-18:00
休館日: 施設休館日・終日展示作業日(いずれも上段に記載)
〒231-0031 横浜市中区万代町1-1 横浜市民教育文化センター内
TEL: 045-224-7920 FAX: 045-224-7928
Eメール: ycag@yaf.or.jp http://www.yaf.or.jp/ycag/

編集発行: 横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市民芸術文化振興財団)
発行日: 2012年10月1日
©Yokohama Civic Art Gallery, All rights reserved



第68回/平成24年 洋画 日本画 彫刻立体 写真

2012

ハマ展

会期：11月20日(火)～12月2日(日)

10:00A.M.～6:00P.M. 最終日は4:00P.M.まで

会場：横浜市民ギャラリー（入場無料）

関内駅前 横浜市教育文化センター内

主催：横浜美術協会 共催：横浜市文化観光局

助成：神奈川県

後援：横浜市芸術文化振興財団 / 横浜市教育委員会 / 神奈川県教育委員会
はまぎん産業文化振興財団 / 横浜商工会議所 / 神奈川新聞社
朝日新聞横浜総局 / 毎日新聞横浜支局 / 読売新聞横浜支局

tvk (テレビ神奈川)

お問い合わせは下記へ

■ 横浜美術協会 事務所

〒231-0028 横浜市中区翁町1-3-15 小原ビル5F (續橋 守方) Tel.045(681)5158

■ 横浜市芸術文化振興財団 横浜市民ギャラリー

〒231-0031 横浜市中区万代町1-1 Tel.045(224)7923(会期中)

■ 公募規約・搬入申込書を郵送で希望の方は横浜美術協会事務所へ80円切手同封の上申し込むこと。その他市内各区役所・近隣画材店にもあります。

URL: <http://www.hamaten.jp/>

みなとみらい線「馬車道駅」から徒歩2分。好立地&手頃な料金！

県民共済ギャラリー

白を基調とした壁面。

LED 照明。

明るい展示空間は、
作品がよく映えます。

平面から立体まで、
スマートに展示できます。

利用料金

7日間 **77,000円**(税込み)
(ロビー・壁面併用の場合)
プラス 7,000円

※利用の条件は、主催責任者が
「神奈川県民共済生活協同組合
の組合員」であること



問合せ・資料請求

045-201-8226

10:00～17:00(土日祝休)

横浜市中区元浜町 4-32

神奈川県民共済



壁面：ギャラリー 19.4m・ロビー 14.0m・床面積：36.9m ※目安として、10号サイズの絵をロビー・壁面併用で30枚程度展示することが可能(展示方法により異なります)